

# バストス週報

第 1543 号  
昭和五十一年  
十二月六日  
月曜日発行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Shoho  
Miyatake  
Rua 10 de  
Novembro 882  
C. Postal 112  
Fone; 340  
BASTOS  
E. S. P.  
Annual  
Cr. #  
85.00  
前金  
Adiant.

潮騒 50

## 闘病 (とうびょう) C

糸音

○脚が全々動かなくなり、壁にもたれてみると、ずるずると体が崩れて床に踏みこんでしまい、力を振り絞っても立ち上れない。ばあさんと孫娘が来て、カーマに引上げてくれた。去る九月十五日のことだ。そうなる道におよそ三カ月ぐらい、私は足痛を前え、診察を受けて注射、服薬を続けていた。治癒どころか、毎日悪くなるばかりである。コジンニアへ行くにも WC へ行くにも、へっぴり腰で、重さ伝わり、どうやら用を足していたが、前述のように、とうとうへたばってしまった。

○両脚とも下肢は腫れて、痺れ、大腿部は疼くように痛むのである。カーマから起き上がり、椅子に掛けることは出来るが、動かすわけにいかず、車椅子したら、どうだろうか、などと考えていた。

こうして一カ月迫く寝たり起きたりしていたが、良くも悪くもならず、このままでは一生足元になっってしまう怖れもある。その内に椅子も出来たので、手足をばたばたさせながら、サーラへ行ったり、次の部屋へ行ったりした。

しかし一度専門医に診てもらい、病源を調べてもらうことになり、十月十三日ツバンの病院へ入院した。

○はじめは DR ヒラキという日系医の診察を受けたが、レントゲンには骨の異状はあらわれておらず、神経科のドトールに廻わされた。やはりレントゲン写真で下腹部を調べられ、泌尿部に異状があることが判明した。手術とのことである。その用意といたうのであろうが、尿道にガラス管を挿入して、コム管で尿を除去するわけだが、妙なもので、挿入してあるのに刺激を受け、やたらと尿意を催し、そのたびに寝たままの寝小便である。かうだも気促に動かすわけにはいかないの、退院の日に新聞を見る。家から届けてくれた新聞である。

○江青女史が大將分で王洪文、張春橋、姚文元の中筋だけでも十二人も居るといふ、ややくい政治組共文事派の夕方派四人がクテータを起したやりに、織の中から、誰を抜擢しようにも、当分の毛、周のなつた事件が大きく出ていた。周恩来首相、毛沢東力を以ってしても、後継主席や首相を送出するのは主席が相次いで他界したあと、中共政権は多少ぐらう困難であつたらうと思われ。しかし決めかねいかつくだらうと見られていたが、早くも揺れが見え出ら、よけいむずかしい、と云うことにもなるであらう。

## SUPER MERCADO TARODA

Rua Adhemar de Barros 175. Fone; 16 Bastos. S.P.

何でも揃う安く買って買いいい店

内外雜貨並びに食料一切  
電気及び水道用具、金物類  
フェイラメント、食器類一切  
炊事、台前用品、陶磁器、ガス  
酒類、清涼飲料水、カンヅメ  
年末年始の贈答用品  
店頭にてコービンホストの用意とユトビン切手も用意してあります 御利用下さい



アマールデバロス街一七五番地  
スベルメルカード

## 太郎田屋嘉工門

電話 十六番

## FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & Filhos Ltda.  
Rua Duque de Caxias 271, C. Post. 111. Fone; 29

## 森元苗木本舗

電話 二九番

生活安定に備えて果樹園の造成を!!  
果樹園成功の秘訣は良種の苗木を選ぶことにあり  
優良種の苗木なら農林省公認の  
フロラバストス森元苗木本舗へ  
御相談下さい。親切に御相談致します。  
蘭の新種珍種安価提供致します。  
全伯の知名な蘭園と提携して安価に提供中!  
地方を巡廻して居ります故よろしくお願致します  
果樹の外、花木類、庭木、鉢植物、盆栽用、種用色々  
園芸用苗木いろいろあります

ラ。この四人組のクレータは陸軍の主権者が、華国  
へ密告したので、バシてしま。たというのである。  
あぶない橋を渡る差当をや。たものではある。

それにくらべると、私の騎馬手術など、わけもな  
い話だが、手術を受ける身になると、まさか命をと  
られるわけではないが、たとえ一部でも切解され  
ると、あとの治療も長引くだろうと、内心愉快では  
なかつた。手術というから、てっきり手術刀や鉗で  
切るものと思つていたら、どうもどうではないとい  
い。初回の時陰毛を全部そり落されたので、いよいよ  
痛む目にあうのかと覚悟をして、手術台に横臥す  
る前脊柱(へせきちゅう)下部と、左腰上に注射され  
、しばうくすると、感覚がにぶつて来たが、右手で  
お尻の辺をつねつてみると、はつきりしている。こ  
れでメスを入れられてはたまらんと思つて、この  
主治医と助手が、いきなり下腹部を押えて、膀胱か  
う尿道をとおして何物かを絞り出すようにして、  
か、二十分位で終つたものか、運搬車で病室へ戻  
された。

中一日をおいて又手術室につれて行かれて、前の  
時と同じような仕度をしたが、こんどは局部に医師  
二人、頭部に一人、左右には看護婦がいて物々しい  
目と体の間にパンソを下げてあるの、こんなこと  
とをするのか判らないが、こんどは何か、マキアを  
下腹部にあてがい、左右腹部を強圧したり、尿道か  
ら何か絞り出すような仕草で、気が遠くなるような  
痛みである。  
あとでさぐくと、尿道の前立腺中に異物があり、尿  
道を圧迫しているの、それを除去したのでさうだ。  
約二時間あまり下腹部をもみくちやにされたので  
、疲労してしまい、自室に帰つて、やれやれと思つ  
た。間もなく、ソロロの注射が行われ、五時間以上刀  
に縛りつけられ、この日は長く苦しく、実に  
いやな日であった。

翌日は主治医が容態を看にくる。助手が注射を打  
ちに来る。力ど睡りも出来ず、うとうとして、  
、血圧を計りに来る。三日目、四日目の注射で、一  
々ちかちかした助手がやって来て左腕、右腕にブツブツ  
針を立てるので、うずいて夜もろくろく安眠できな  
い。  
もう、六月ごろから毎日注射をしていたので、上  
膊部は固くなつてゐる。その固いところへ、  
「堅いなあ」といながら助手たちはブスリ、ブ  
スリと針を立て、ささささといつてしまふ。

次に届けてくれた新聞には、兎玉拳志夫が病床に  
あるため、審問ができず、口事件は行き詰りである。  
「どんな病気が知らぬが、かりにも兎玉が死んで  
しまふようなことがあれば、ウマムマに終つてしま  
うのだらうか。」  
小佐野賢治という兎玉の相棒も、病院に逃げこん  
だりして、ごまかしてゐるが、十億もの大金を動  
かした連中から、金の行衛を供述できぬとは、まご  
とに不恩儀な仕掛けである。  
また、三木首相に傍電話をかけた鬼頭某という判  
事補も、議会の証人によび出されても、うねりくね  
りと逃げるし、裁判前の呼び出しにも、何かと文句  
をつつけてゐる。  
それらが今日の日本の法律では、抑ええゆく力が  
ないのであらうか。実にもやもやした話である。  
○それは、恰も私の脚力のゆけで、  
背神経痛のせいではなく、泌尿科の故障から起つた  
障害で、その原因を治癒することによつて脚は自然  
に治るといふ理論は一応もつともであるとしても、  
小便器と脚力喪失との関係に列つては、どんなに説  
明されても納得がいかない。政治の話と混同するわ  
けではないが、兎にもやもやした話である。  
これに主治医の云うように、三カ月もたつて脚力  
が回復すればいいが、そのまゝ一歩も歩けなくなつ



**INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ**  
 Clinica e Cirurgia de Olhos  
 Prescrição de Óculos e lentes de contato  
 Dr. Isao Umino CRM 22.647  
 Dr. Luiz Carlos Aves Negrão CRM 22.615  
 Rua Carijós n.º 278 - TUPÃ Fone 2903 Em frente a Rodoviário

**おしらせ**  
 このたびツパン市ロード  
 ビアリオ前にて診療所  
 を開けましたのでハストス  
 への出張が不可能になりま  
 した。  
 就きましては治療中  
 の患者の方々には誠に恐縮  
 ですが、トパン  
 の診療所へおいで下さる  
 ようお願い致します。  
 (INRSの受付も致します。  
 診療時間：午前八時より正午まで  
 午後二時より六時まで  
 眼科手術も、眼薬の度も調べます  
 ツパン市カリジós街二七八  
 電話 二九〇三

たら、どういふことになるであらう。  
○口事件も大きいのが、こちらの身体障害もまげす  
に大きい。

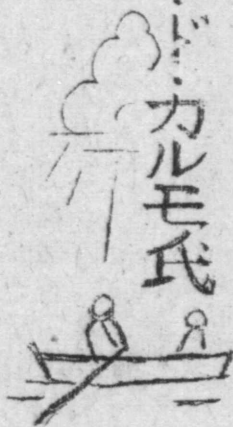
### 盛会だった ピアノ演奏会



去る十一月二十三日、会館でピアノの演奏会がある  
から聴きに来て下さいと言ふ電話を高田夫人から頂  
いたので、その時は、多分ハストスのアマドル豆  
ピアノニストの温習会だと思ひ込んでいた。ハストス  
でも時々トツパンのワンタ先生の生徒さんたちの温  
習会を開催して聴かせてくれるので、開催されるた  
ひ楽しみにして拝聴に出かけるが、今回は、誰それ  
ほどのように上達しているだろうか、今回は、誰それ  
しみにして居ると、高田さんからコンピッテ兼プロ  
グラムを届けて下さつたので、急いで聞いてみると  
、ハストスのアマドルの温習会ではなく、本格的  
なプロピアノニストの演奏会であった。  
ツパン市のサンタ、セシリア、ピアノの学校卒業し  
た立派なプロピアノニスト達の演奏会でも有名な  
パウロ、シオウアニスト先生提供によるもので、その  
上パウロ先生自身の協奏のオケストラと云う豪華な  
音楽会である。  
私には事がおくられていたので、明晩のピアノの演奏  
を聴かして貰うために夜業を午前三時まで休んだ。  
このように立派な音楽会は、サンパウロの有名な大  
都市ならしげに、ハストスのような奥地では、  
めつたに聴かして貰う機会がない。トツパン市で  
は時々こうした催しがあるだろうが、ハストスでは  
めつたにこんな好機会はないので、早く出かけて、  
良い席をとりたいため、八時からあるのに七時半  
前に出て行った。



# 故シヨゼサンタアンナドカルモ氏



シヨゼ、サンタアンナ氏が逝いてすでに数年を経た。このサンタアンナ氏もわれら移民史上忘れぬことのない人物の一人であらう。氏の日本語の著書も二、三のこざれてゐるが、中でも氏の「日本語文法」は、日系二世諸氏の日本語練習に大いに當りたる処があった。

シヨゼ、サンタアンナ氏は、バストスへも二度ほど来られたので御存知の人も多かろうが、ここにまた岸本兵陽氏が一九五五年に刊行された著書「ブラシル先駆者の足跡」の中からシヨゼ、サンタアンナ氏の伝記をさぐってみよう。岸本氏は次のように述べている。

## 日本人の長所と短所

一九五五年の現在、四十万の同胞の活躍しているブラシルには、相当多くの親日家が隆に隆に我々の進出を助け、激勸してくれて居ることは感謝である。こうした数が多い親日家群の日本及び日本人に対する理解の程度や視野の度合など我々にとつて非常に興味ある問題であり、又重大なる関心事でなければならぬ。

サンタアンナ氏の応接間には、天の橋立、松島、巖島神社など日本三景の絵葉書が額にして飾られていた。それから氏の書齋に通されて驚いたことは、本立には日本の部厚い書籍がギッシリ並んでいる。日本書記、日本精論、古事記、枕草紙評釈、シマカ一代記、大地、風と共に去りぬ、横光利一の「花」広津和郎の「長篇小説集」教育哲学、物理学書、その他文学書が所狭きまでに並べてあり、氏の日本の教養の深度を無言の裡に物語っている。氏が「ブラシルに於ける日本人の長所と短所」を卒直に見たまま話して下さい。

## 一番好きな日本人

記者「貴郎の一番好きな日本人は誰ですか？」  
サンタアンナ氏「年代ははっきり覚えて居らないが

## 御 礼 (ピアノ演奏会)

去る十一月二十四日夜綜合会館に於てツパン市コンセルバトリオムシカル、サンタ センリアデ、ツパンのワング、ゲーテス、フェレーラ先生の生徒さんで卒業された数名の演奏会を高名なパウロ シオウアニニ先生の要望により、開催致しました。処、多数の方々がおいで下され、長時間の演奏にも拘らず、只一人の申座する者もなく最後まで御静聴下さいまして、演奏者一同並主備例も非常に満足されました。

演奏会開催に当りマリリア市アムシカル、島田様よりピアノの貸与にあずかりました。又柴田時計店様からは音響装置の提供を頂き、ワング先生門下生の御家族からは会場整備の御奉仕にあずかりました。厚く御礼申上げます。

## ピアノ演奏会後援者一同

林子平という有名な学者があつたが、その時分の気風として、武家が百姓野人に対して斬り捨御免をしたり、人間の一命を非常に軽く取り扱つた時分に林子平と云う人は「名譽もいれぬ、金もいれぬ、されどいつまでも欲しきものは命なり」と言つて、人間の生命を最高最善のものとして説いた。その為めに当時の社会からは臆病者、腰抜け学者として嘲笑され、罵倒されたが、天地万物一切の中で人間の生命、一命の生命が如何に尊いものであるか、キリストは「人その生命を失なわば全世界を得るとも何の益もあらん」と教えたように、生命を尊ぶ心の中に、他人の人格を尊重が生れ、他人の幸福を作る協の精神が作られてゆき、そこから共存の社会国家観が生れると云うことを当時の社会の人々に知らしめた学者、こういう学者こそ人類の恩人であり、社会の宝であると思ふ。当時の社会情勢から推して首を刎ねられる危険の中にあつて、武士道華かなりし時代に生命の尊さを説いたこの学者のあつたことは、実に尊いことだと思ふ。今から三、四百年前に日本にはこのような偉大な学者が居たのである。私はこの様な人間に最大の敬意を表したいのである。

記者「貴郎は日本のどういふ点が一番好かれますか？」  
サンタアンナ氏「私が日本を敬慕しその純美なるもの

の前に頭を下げるに於ける点は日本精神である。斯る偉大な精神を私は世界の何所の国の歴史の中にも見たことがない。戦後日本人間に日本精神の価値を疑う者があると聞くが、これは一体どうしたことであらうか？ 私は日本精神に就いて、戦

時と平時の二つの形態を面白く見て居る多くの人は、平時の生活の中にある。日本精神に気がつかなくて、戦に現われた一小部分の武勇伝だけを見て日本精神を論じるのは甚だ危険である。大体、精神とは歴史と環境によって作り出されて来たものであって、この点日本の歴史は他民族の歴史と異った特質を持っている。

### 平和な時の日本精神、大自然の生命と融合

朝顔につるべとられて黄い水  
私の好きな句である。この短かい句の中に日本人の国民性が遺憾なく表現されていると思う。内儀さんが、朝起きて水を汲もうと井戸端に行つて見ると、朝顔のつるが、つるべにからみついて涼しげな花を咲かせていたのだから、無心に咲いているこの花を傷つけるに忍びなくて、陶家の井戸まで水を貰いに行つた。……というこの日本の女性の涙ぐましいまでに素直な優い心、自然の一つの花の咲き終るまで見守つて育てて行く心、この素朴な句の中に、中に見えてくるではないか。一つの生命を育ててゆくために、自の不便も不利も骨折りも一切かえりみず、全然どういふことを意識しない、心なき野の花をも愛し育ててゆく美しい心情がこぼれた日々の生活のしみ出ているのだ。  
又日本人は春は花見の行楽に耽り、秋は紅葉狩りに秋色を賞でる心は大自熱と人間の生命が、一つに融合してゆくやうとするのであつて、国民的感情の自然美に溢れてゆく姿であると思う。この自然と渾然一体と打らんとする国民性こそ、平和であり、温雅であり、歌の花の如く淡白であり、黙として営む勤勉であり、そして自己をなげうつて根本を生かすうとする生活の精神と打つてゆくのだと思う。

### 日本精神

日本の歴史の中で私の一番好きな人物は川中島合戦の上杉謙信と、赤穂四十七士である。海面上杉謙信と山田武田信玄の合戦に於いて、謙信が塩を送つて戦つたあの勇壯と人間味豊かな心情の中には、憎しみも怒りもなく、戦わなければならぬ宿命と戦う。あの澄み切つた瀾波な大空のような武將の心事は、まさに戦を決せんとする寸前に、敵国の武士も女子供も一律に食糧苦より救わんとして、塩を駄馬に積んで統々と甲斐の山国に送つてやつた。心情的美しさは泣かされるものがある。戦の中にも尚敵国の人々を生かして戦つた此のやうな戦争は、日本の歴史の中においてのみ見られるところだ。  
この出来事から日本以外の如何なる国の歴史にも見ることの出来ないのは、赤穂四十七士の切腹である。この特権階級、いわば支配階級の腐敗を取り除くための奸臣吉良を殺し、四十七人の義士が切腹したこと、を物語っているものであるが、仇をとつたこと、や、切腹したこと、善しとするものではない。徹誠の君主浅野が、無念の血涙を呑んで死んでい、た其の死を大死に終らせなしたために、その正義を踏たしめろために、即ち人道を世にたてるために、その当時と、しては到底手の届かない権力の前に絶望しない、四十七人の人達が一丸となつて、微力な一人の君主の成し得ざる意志を達成した、死を以つて不可能を加能ならしめた。  
一つの目的を成し遂げるために、幾百幾千万の連が一人の先人の屍を乗り越え、一身一家を捨てても勝ち取るやうとする。そして大局に照らして、いけなかつた点についてはいささかよく責任を負つて、最後の死をもつて償おうとするこの純粋なる死生観こそは、日本独特のものであつて、ここに日本建国の底流をなす精神の特異さを感じられる。  
星は移り、山河の姿がどのやうに変わろうとも、国の歩の精進には古今を賣めてゆくものがあり、そ

こから再び偉大な文化日本が発生してゆくであろうことを深く信ずるものである。

日本に一度も遊学せずに、日本の中学卒業以上の学力を身につけ、日本の古典文学から近代文学、哲学を解し、歴史と社会環境から生れた思想を論じ、日本人自身を時に顔色なからしめる深い観察を把握して居るジョゼ、サンタアンナ、ド、カルモ氏は、しかもそのどのような経路を辿つて来た人であらうか。そして、どのような概略から日本研究の第一人者となつたのであらうか。興味百々の親日家の奇しき民とりにここに記し、かかる傑出した見解を堅持している氏に対して感謝と敬意を表する次第である。

### バイマの流浪の少年

ジョゼ、サンタアンナ、ド、カルモ氏は、ブラジルには珍らしい立志伝中の人と云つてよい。氏の郷里はバイマ州のアシム、デ、サンタアンナ町で、サンフランシスコ河から四、五十キロの小さい町に生れ、十六歳まで其処で暮らして来た。或時、遠い南方のサンパウロ州へ出稼ぎに行つて来た人達が帰つて来て、いろいろ珍らしいサンパウロ州の話を聞かせ、土地の人達の心を沸かした。その話に聞き入るサンパウロの娘は、何十階の高い建物か中空に響く響線が蜘蛛の巣のやうに張りぐらされ、日中でも太陽を見ることが出来ない。あままり人間が多く、踏み潰されたりするやうなので、頭の上を道を作つて、そこを歩くにしている。(ピアツツト、デ、シマ)女の指輪をはめて、どの女の人も女神のやうに美しい。男は年中ネクタイを掛け、隣家へ行くにも車に乗つて行き、幾百もの飛行機はトンボのやうに頭上を飛んでいく。年中、白いご飯やメリケン粉だけ

## Organização Social de Luto Regional

Rua Adhemar de Barros nº295 Fone: 361 Bastos S.P.  
Residencia no local, Faça Bastos crescer prestigiando seu comercio Sobre direção de Feliciano - Ribeiro Ex. Funcionario, da Funeraria São Pedro Artigos Funeraria. prestação de serviço, flores, coroas, velas, Hossenko, Hihai e artigos para UMBANDA em geral - Atendimento pelo INPS e FUN. RURAL. Atende-se dia e Noite.



## 葬具店 フネラリア サンペードロ

後藤さんのガソリンポストの向い側で葬具店を開業して居ります。当店で は便宜上花、花輪、練香、十字架(クルス)お位牌、等の仏式の用意もごさいます。葬具の分割料等御相談に応じます。昼夜の別なく受付けて居りますから、お電話で御用命下さればすぐにお届けいたします。尚 INPS と FUN RURAL の受付致します。

ル子 アデマル デ バース 295番 電話361番 バストス

で作った(混ぜ物のない)パンを食べ、牛肉や豚肉、鶏肉をふんだんに食べ、白砂糖を入れたカフェを飲んでいるので、人々の血色はつやつやして美しい。一日の食事は十五ミルの日当になる。(バイアでは三ミル)山伐り、珈琲の植付け等の仕事を請負いでやれば一日四十ミルにはなる。月末に勤定を貰うと金の置き場に困る。ボロスボンの中や上衣の中に縫い込んで置くと置くが、実際、金のやり場の中にむ始末だ。少し勉強して学校の先生にでもなれば、女でも一コント月給を取っている(バイア州では二百ミル)サンパウロの女の人は美しく、優しく、賢い。真面目に働いて金さえ貯れば、女神かお人形の様なあちらの人と結婚して楽しい生活も出来る。

地上の楽園サンパウロの話は、どの話の中にも人間の幸福が充ち満ちている。同じブラジルでも北と南とではこんなにちがうものか、サンタアナ少年の心の中には「よしっ、俺も行こう、南方の楽園サンパウロへ、そうして偉くなるんだ！」と、決意がムラムラと湧き起って一九二五年、十六歳の時破れ上ラックを肩に乗せて、サボテンの砂地を横切る町を放立った。

愈々バイアの流浪の民となつて、珈琲の花薫るサンパウロ州の北から南へ、東から西へ、流れゆく其の当時新興の奥ノロエステのアサツツバ附近で日本人植民地のカマラーダに入り込んだのが、サンタアナ氏の運命の転機となつたのだ。日本人植民地に來て驚いたことには、男も女も、老いも若きも皆一生懸命にブラジル語を勉強している。そして彼々に乞われて学校の先生になつた。ところが日本人達の勉強は徹底的であつて、文法的の説明を求めてくるのだが、バイアの初等科で二年までしか勉強してないカマラーダ(日府)先生では、複雑な動詞の変化をきかれ、先ず行き詰つてしまつた。條件法、接続法、さては不定法などを問われ、ゴマカシがなくなつてしまつた。

ブラジル人がブラジルの国語を、この異邦の人たちには説明できないとは何と恥しい。そして悲しいことだ。しかも彼らは此の貧弱な先生に失望もせず根気よく勉強を続けている。よし、金儲けより勉強が先だ。教育を身につけて立派な先生になつてやろう。バイアの流民、サンタアナ青年は日本人植民者の向学心に刺戟され、彼の心機は一転してここに新しい人生の誕生を始めたのである。

彼は半日、日本人農家のカマラーダをし、半日グッポ、エスコーラール三年生に通つて勉強し、二十歳の時、愈々グッポ四年生を卒業することに成つたが、初等教育法の規定の年令を超過しているので、免状は校長の独断で出すことが出来ない。サンパウロ州学務局長に請願書を認めため、卒業證書を復得した。彼は更に勉の手をゆるめず、日中は農家のカマラーダをして過激な労働をし、夜間は商業学校に通つた。立派な先生になるために一生懸命に勉強を続けた。

商業二年生の時、代用教員の試験があつたので、受験した。十八人の受験者中一番の成績で合格した。時は嬉し涙に泣いた。愈々正式の教員の免状を握つて第二リアマンサの日本人植民地の小学校の生主に、それからチエテ移住地の先生に赴任して行つた。其処で彼は思わぬ困難にぶつかつた。それは日本から直来の人達の子供であるが、先生の説明がどうしても解らない。子供達は皆熱心に勉強し、何とかしてブラジル語を覚えようとして居る様子がよく判るけれども、どうしても解らぬことが出来ない。この可憐な異国の子供達にどうしように思つて居る。たらいよいかと、若い教師は焦ら立ち、自己の職責を果し得ない苦しみと悩みを押しつけつては置かず、夜もかしいなまされていた。人の心を作ることに如何に難かしいものであるか、我教師となりて始めて人の心



# RAÇÃO DUTRA



これがラツツンツットラの大きな特徴です!! 高度の経済効率・嚴重なる品質管理・安定度の高い配合!! 皆さんの鶏の健康を守りより多き利潤を産み出す飼料としてラツツンツットラ株式会社ではあらゆる技術を駆使してあります

## 前山商店飼料部

養鶏飼料販売部各員

- 佐藤 豊
- 木口 常治
- 藤武 良郎

右の養鶏部員が参考致しました。節は何卒よろしく御願申し上げます。

の世界に入ることの難かしさを知つたのである。けれどもサンタアナ先生は、どんなにしても、自分の職責使命を果さなければならぬ。この異邦の子供達に、ブラジル語を覚えさせるためには、まず自分自身日本語を覚えて、自己を子供達に与えて、かかれなければならないと決意し、日本語の学校に出席し、ブラジル語の自分の教えるたちと一しょに机を並べて勉強した。このようにして困難な日本語も、高等二年までを勉強し、田舎ではこれ以上勉強の通加なく成つたので、早稲田中学講義録で、中学四年迄の全科を勉強し、植民の日本語の先生から、「日本の中学卒業の学力充分あり」と認定されるに到つた。

エチソンは、必要は免明の母なりと云つたが、サンタアナ先生は、日本人の子供を作らんとして、自分が作られたのである。

### 日本人に対する友情

リオ、デ、シマネイロ市で小林進氏が日伯文化協会で日本語講座を開くことになつたので、その日本語教師として招聘されてリオへ行つた。サンタアナ先生は最早、草深い田舎の日本人植民地の一教師ではなく、一国の首府で堂々と日伯文化交流のくさびとなる日本語の講師として教鞭をとるに到つたのである。生徒は大学生、時海軍の将校、医師、弁護士等、上層階級の人達五、六十名が何時も集つて来た。此の中央の学究的な人達と接触するに及んで、もつと伯語の素質を積み重ね、自己の職能に権威が感じられなくなつて来たので、本格的にブラジル語の学問を修めようべく中学に入學し、三十歳で中学卒業免状を獲得した。この間に彼はゲーテ、ルソー、アリストートル等の文学哲学書などを盛んに読破して、人生に対する深い探求を続

けていた。たまたま日本の皇紀二千六百年祭に日本政府「日本文化振興会」の各の下に全世の人士に對し、愚賞論文募集した。入賞者には日本迄の往復の旅費と、日本留學の費用を支給するという條件だつた。此の企は非常に反響を呼んで全世界の日本研究家達三百五十名から応募者があつた。

日本の中學卒業の学力を有し、更に日本の古文化から近代文明に列る推移を研究して来たサンタ・マリア氏も応募して見た。其の論題は「日本文明の特質」と題し、神代時代から新羅(シラ)百濟(ペ)の南(コ)の大(陸)文化の入りて来た文化経路から、近代日本建設に列る雄大な一國の文化形迹を書いた論文だつたが、二等に当選し、雜誌「海外」其の他日本の新聞に発表され、日本の大使からも日本留學を勧められたので、此の機会に早稲田大学か、帝大の文才又は哲学科に籍を置いて研究すべく準備して来たところ、遂に第二次大戦となつて、実現出来なかつた。

愈々戦争が勃発し、日本の海軍が、パール、ハワイを攻撃するや、リオの新聞記者がどつと押し寄せて来て日本非難の記事を書くように、あの手、この手、たまたかかれたが、一行も書かなくなつたし、一言もしやべらなかつた。

日本を深く知る者として、戦争非常時の一問題を以つて先々角言うことは出来なかつた。

そのうち政府の命令で「日本語文章検閲官」に任命されたが、戦後サンパウロに居を移し、日本人のいろいろな困難問題の解決に當り、先角不利な立場に陥り易い日本人達の、思想警察の通訳や、文章の諷刺等相当な大かたものを取扱い、多数の友達の不利益立場を好転させてやつた。

純粋と今後の希望、サンタ・マリア氏の足跡を見るのと一つ一つのいばらの道を切り開いて、獨力独歩、人生の高嶺に攀じ登つて来た人であつて、氏には好運であるとか、よい機会に恵まれたというふうなもの、一つもなく、徹頭徹尾涙と汗の奮闘努力によつて克ちとつた栄冠である。

二十歳で小学校を卒業し、三十歳で中学校を出た彼は、四十歳で結婚生活に入つた。夫人はサンパウロの師範卒業の先生である。

氏はこれから高等学校に学び、法大を卒業して、政治界に活躍したいと云つて居る。氏の日本人に對する心情を最も雄弁に物語るものとして是非とも記して置きたいことは、戦争中敵國人である日本人に對する氏の態度である。

戦争最中にも氏は日本人の友人知己と交友し、平時と少しも変わり無くやつて居た。或時又パイ線艇で彼の身辺には鋭い目が光り出した。氏の行く所、影の如く尾行がついたりしたので、友人達は非常心に心配して「日本人達との交友はやめたがよい」と忠告した。併し彼は、

「戦争は國と國との一時的な問題である。友情は一生のものだ。一時的な戦争の爲に、一生の大切な關係を断つことはできない。

殊に日本人達は言葉の点で何時も不利な立場に置かれて居るのだから、このような時にこそ我々ブラジル人は出来るだけ、此の善良なる異邦の友の声を聞き、力に打つてやるべきだ。

それかブラジルの翼を博大なる精神であるのだ。私は一時的には睨まれ、誤解されるかも知れないが、彼らとの友情關係を断つことは出来ない。」

と云つて、氏は身の不利を忘れて、日本人と平然と交際して来たところに、氏の日本人に對する心情がハツキリ浮ひ上つて居るのだ。 完



### 健康管理定がたるい!! 危険

高温多湿の季節になると足のたるさを訴える人が多くなるがB1の不足と糖分の摂り過ぎからくるのである。なるべく野菜と動物性蛋白質を多く目に食へること、ちよつと腰かけると居眠りの出る人、足のたるい人は氣をつけねばなりません。

暑くなるると、清涼飲料水やアイス(ソルベッテ)などを飲みすぎで水分過剰になりがちです。それだけ魚類と小肉類を多く食へねばなりません。それが少しと疲れやすい、眠いという症状がこりまゝ。脚氣になる一歩手前です。

最近ブラジルでも脚氣がふえているという報告が来ます。本當の脚氣になると、下肢に浮腫、しびれがきたり、心臓の拡大がみられます。

しかし報告されて居る脚氣は永山の一角で、その手前の慢性の脚氣症状は相当に多いということです。脚氣、脚氣症状はB1を服用すればたちまち回復しますが、必ず医師に相談の上で服用すること、薬を服用しなくても、B1はあらゆる食物に含まれて居るので、日常バランスの良い食事をすることが大切で、

牛肉よりも牛でも豚でも鶏でも肉よりもビーフソドなどか一番回復を早め、薬のように副作用もありません。

最もたるると、家族の健康を管理する主婦や、一人暮らしの人は、多彩な食品を献立に盛り込むこと、動物性蛋白質の摂取に心がけましょう。牛乳、卵、魚(とくに肉類)豆類、B1は高熱では破壊されるので注意を要します。

鶏卵は動物タンパクには最上等ですから、卵をどんどん食べましょう。

### ◎ ラジオ日本語放送 アンデスの声

日本語のラジオをお聞き下さい  
毎夜、七時からと八時半の二回です  
短波 19メータ及び25メータ  
NHKのニュース、民謡、音楽  
流行歌 講演等々  
バストス  
福音ホーリネス教会  
プレジデンテ ヴァルガス 街 592

### FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco % C. Post. 23 Fone: 515  
ADAMANTINA E.S.P.

日本式及ブラジル式  
墓 碑 記念 碑  
胸 像 石 燈 籠  
石 臼 石 臼  
石材彫刻類一切製作  
古い墓の修理もいたします  
アママンチーナ市リオブランコ大通り  
**大西石碑工場**  
電話 郵函 二二三番  
電話 五一一番

# 言語不通から殺人事件

六十年の昔マッシュマト日系植民地での悲劇

アルバレス、マッシュマトは一九一七年に星名謙一郎に依つて売り出された日系植民地で、わかバストより約十年早かった。当時はブレジョン植民地と稱して居たが、日本移民にとつては一九〇八年に第一回の移民船笠戸丸がサントス港に着いてからまだ十年しか年月がたつていない頃で、ブレジョン植民地の開拓史は日系植民地の草創時代であつた。

わかバストでは移住地支配人であつた畑仙次郎氏が日本の外語学校を出て来られたので、言葉に不自由もなく、ブラジル人との交渉事にもさして問題が起らず、開拓当初から割合平穩無事であつたことは幸せであつた。

星名氏によつて売り出されたブレジョン植民地では、バストスのように学校も病院もないばかりか、鉄道はラランジャマトロに終点で、それからは徒歩によらねばならなかつた。

こうした奥地へ第一回に入植した人達が言葉も分かぬまま外人カマラーダを相手に開拓に乗り出したのだから、血なまぐさい事件が何回となく発生したの無理からぬことであつたかも知れない。この開拓史を宮下良太郎氏の記録からみる。てみよう。

## 第二支部第四区の「殺人事件」

ブレジョン植民地といふは殺人事件を忍われ、殺人事件といふはブレジョンと言われる程に殺人事件沃山あつた。就中一九二〇年元旦の夜十一時頃に起つた惨劇は植民地で最初の殺人であつた。この事件の真相は今追に書いて発表して居るが、ブレジョン植民地の歴史を綴るには漏らしてはならない事件である。私はこの時その場に居つて難をのがれたもので、半世紀余を経た今でもあの時の惨劇が目蓋に浮ぶのである。

前年出来たブレジョン日本語学校で、一九二〇年元旦四方持の式を挙げた。日会の第一回の祝賀会で、四キロ、五キロの道も遠しとせず、家長、青年が約四十、五十名位が参会した。祝詞も次々と送る者かあつて、意気盛んであつた。イリコの有で、ビンカの酒宴(御神酒)である。並んで掛けた高田伊三は私を誘つて同県人の家へ年始に行くから行こうと云う。「ヨカエツカが居るケ」そんな事云われるとテれる二十歳の頃である。行つた先はシャバンテ組の福岡の同県人の家五、六軒も呑み歩いた。

高田伊三の家まで歸つて来たのは夜の十時過ぎである。家の中では五、六人とカマラーダが何やらガマガヤ言ひ合つて居る。「ときさんしたと」「このカマラーダがクサイ、ショセーのカーマで寝ころげん出て行け云うけど、出て行かん」といふ。

高田は一人のカマラーダを使つて居た。そのカマラーダを自分らの家を任切つて寝るだけのクワルトを手入れていた。椰子の割、たものを立てた壁である。あつちからち、こつちからち中の椰子はすけて見える。カマラーダが帰つて来て寝た様子だが、家で

# Auto Mecânica BASCAR LTDA

Rua Adhemar de Barros nº 295 - Fone 156 BASTOS E.S.P.

Agora em Bastos há uma oficina que você esperava, com mecânicos especializados em VOLKS WAGEN e CORCEL. Retifica de motores com assistência técnica a preço móvel. a Auto mecânica BASCAR LTDA. e tudo que você esperava de uma Auto mecânica. Agradecemos a sua preferência;



## 開業 御通知

皆さんおまちかねの、ホルクスワーゲンとコルセル専門の特設、オフィシーナをバストスで開業いたしました。高等メカニコが最高の技術を駆使してモトールの完全修理と調整を特別安く、奉仕致して居ります。

何卒御引立の上御用命の程お願い致します

アマルテバロス街二九五番  
**バスカル商会**

電話 一五五六番

使つて居るジョゼーと付様子がちがう。高田の家に妻女と娘しかいないので、近所の井開の家で、正月のことだったかわ、四、五人の男が遊んでいたの、その人らを頼んで来て運出して賣う為にかまがマシていた。そこへ高田と私が帰つて来たのである。

「カマラーダにも言分があつた。俺はジョゼーからリッセンサを得て来ている。此の家はゼニョールのものでも、このクワルトはジョゼーのものだ」と言うのである。道理はどうかかも知れないが、見知らぬカマラーダを家の中で寝かすことは、たとえ椰子割があつても、高田の家は味のあることである。カマラーダは「今頃どこへ出て行くと云うんだ。」と逆殺して来た。折しも折リ、十メートル程の上の道を、近所に依つて居る、マノエルというカマラーダが通りかかつたのを呼んで、「フアツサ、フアポール、このオーメンをボツセのガルボンへ運れて行つて寝かしてくれないか」と「タ、ボン。エントン、ヴァモスス、シコント」と詰かつた。

その時高田が不用意にも小声で「ホンニクセ、センベルゴンニヤの奴か」と云つたのである。聞きのがさなかつたカマラーダは、「ケン、センベルゴンニヤ」と喚んで掛つて来た。

高田とぞげに似た伊前武人は、「ホッセル」と云つたから、カーマから飛び下りざまに、二センチ中に二十センチ程の細いフツカを、手当り次第に突きまくつたのだからたまらない。

以下次頁へ



# 長さ九メートル半にも及ぶ 鯨の骨愈々到着

去る十二月一日午前九時頃、大雨の中を山中三郎氏が来られて、いま鯨の骨が着いて、博物館へ運び入れらるから見て来て下さい、とわざわざ迎えに来て下さったので、ありがたく見物にと思つて、遠慮なく山中さんの車に乗せてもらつた。

最初山中さんから鯨の骨の話を聞いた時、あまり大きいので、置き場所、つまり飾るところがないので、小さいのを貰うことにしようか、私は内心面白くなかつた。クジラは大きいから見る価値があるのだから、小さい奴を貰つてもつまらないと思つて人に話したら、

「いいさん、小さくても鯨ですよ。鯨や鯨といふかうよ。なんぼ小さい鯨でも、いいさんがかづいで歩けるようなのは居ないからな」と言つて笑われた。それでも、まだ私は小さい鯨の骨なら三、四米位まで、骨を丸ごとカミニオンに積んで来て、そのまゝ大勢の人でヨイショ／＼とカミニオンからおろすのかと思つていたら、雨の中カミニオンが着いて見ると、骨は数十個に分解して、木箱に厳重に荷作りをして積まれてあつた。

先ず荷作りは車の上で解かれ、頭の骨から先きに下ろすのを見て腰を抜かすほど驚いた。頭の骨だけ二十人余の人手でこざる重さだ。長さ二米半、中一米半もあり、それだけで肝をつぶしてしまつた。次いでインデオの骨のような恰好をした一米半ほどの長さの肋骨を運び込む行列だ。そのあとからは背骨を節毎に分解して、丁度船のスクリームみたいな形をしたのを何十となく運び込んだ。

その外鶏の手羽先骨のお化けのような形をしたもの、火鉢のようなものなどおびただしい数だ。この山のような骨片を原形通りに組み立てるために、北リオグランデ州の首都、ナクル市の大学水産科の先生がわざわざ二十九日に飛行機でサンパウロへ、その晩のオニバスで山中さんと一緒にバストスへ来て下さつたのださうだ。

この鯨骨を御寄贈下さつたのは、リオグランデ、ノルテは本社のあるブラジル日源捕鯨部からで、日源捕鯨会社は本社が北大河州レシフェで、ハライーバ州ジョン、ベッソアより二十キロ離れた港カベシラとか言う所に支社があり、本社とも鯨肉加工場があるという。鯨は油をとり、肉は筋肉と皮し、骨は骨油にして、アマゾナスのピメンタの肥料に欠かさないものだといふから、大きな鯨も全く捨てる場所がない。

ブラジルの捕鯨業も約五十年もの歴史があるが、油をとり、あとは全部捨てたので採算がとれなかつたが、二十年前に南米銀行が仲介で日本冷凍と提携してから今日の盛況を見るようになったという。この会社の従業員は二百人以上働いてゐるが、幹部は僅か数人で、その取締役がバストスの松本日出夫さんだといふ。

今回山中三郎氏がこの鯨骨の寄贈を受けらるために南米及び松本日日出夫氏がずいぶんお骨折りを下さつた

ということである。捕鯨は有望の水産ではあるが、近年は鯨の絶滅を憂えて国際規約により捕獲制限を受けるようになったことは衆の通りであるが、わかブラジルの割当頭数は今年が六百頭であつたが既に捕獲済みだといふ。明年は一千余頭だといふから相当捕りすぎたかあるだろうが、年々鯨の数が減少するので、捕獲割当頭数も従つて減るので、新企画として鯨演を企てていふといふ。

鯨は種類が多く、今年映画で知られた「ジョーズ」と云う奴、私の古郷では「甚兵衛鯨」と云ふ。体長三メートルから、大きいのは五メートルもあり、俗に人喰いザメと恐れられてゐるが、これも鯨同様に捨てる所がないさうだ。

博物館内へ運び込まれた鯨骨の山を大学の先生は原形の順に並べはじめ、暫くすると、十メートル長の鯨の骨格が判明した。二、三日後には立派に組立が終了するであろう。学術参考資料としても、又バストス観光者は云うに及ばず、一般市民も子供連れで見物に押しかけて来ることであろう。

山中三郎氏の悲願が愈々酬いられ、バストスの名物が又一つ増えた。山中さんがサンパウロから帰る時同道されて来た馬老は今年八十七歳で然も頗る御壯健で、ブラジル移住組合の船期に活躍された人の中で只一人の生存者であるとのことだ。茨木根の出身で、明治時代に北大の水産科を出られたという。自分らの作つたバストス移住の繁栄ぶりを見に来られたということだ。山中さんはバストスの老人達に一夜有馬さんのお話を聴かせてあげたいと言つておられた。

また鯨骨を組立に系て下さつてゐる大学の先生は飛行機の操縦とピオロン弾奏が趣味で、就中ワイオリンで日本の歌を眼えば、プロ級の熟手だとのことである。是非聴かせて戴きたいものである。

勝浦

## 御禮

去る十一月二十八日バストス又九山球場に於て行われました紅白野球大会に左記方々よりカツフ代として寄贈下さいました。有難う御座居ました。

### 野球世話係

- 金百クルゼイロス 山中市長 様
- 金百クルゼイロス 生方正義 様
- 金百クルゼイロス 本林春雄 様
- トロフイ 宮崎将義 様
- 二百八十クルゼイロス 柴田高美 様
- 百十クルゼイロス 佐藤豊 様

# Aviso de Cine Pastos

十二月五日(日) 九時半 六日(月) 八時  
**父ちゃんのホーが聞える**  
 小林桂樹 藤園琢也  
 吉沢京子 司桂子  
 佐々木幸彦 吉行和子  
 監督 石田勝心

十二月十日(金) 十一日(土) 九時半  
**不良番長 やすぶたくり**  
 梅宮辰夫 正司敏江 山城新吾  
 中村是好 渡瀬恒彦  
 菅原文太 内下キヨ子 天津敏  
 監督 野田幸男

十二月十二日(日) 九時半 十三日(月) 八時  
**女囚さそり (けもの部屋)**  
 梶芽衣子 真山知子  
 成田三樹夫 八名信夫  
 南原宏治 森みつ子  
 監督 伊藤俊也

十二月十八日(土) 九時半  
**日本誕生**  
 三船敏郎 香川京子  
 志村喬 東映オムスター  
 乙羽信子 総出演  
 監督 稲垣浩

十二月十九日(日) 九時半 二十日(月) 八時  
**吾輩は猫である**  
 仲代達矢 夏目漱石 監督 市川崑  
 波島里子 篠ヒロ子 緑魔子  
 島田陽子 岡田英治 伊丹十三  
 七尾伶子 左とん平 香川京子  
 上三枝ゆかり 岡本信人 井上れい子  
 監督 渡辺信一

十二月十九日(日) 九時半  
**日本誕生**  
 日本武の勇の波乱と起つての悲劇の生涯を中心にして國造りを描く大スケタル巨篇

# Deposito de Madeiras Paraná

Rua Tabajos - 140 Fone 2229 TUPÃ E.S.P.

## Kaname Tamaki Cia Ltda.

MATERIAS PARA CONSTRUÇÃO EM GERAL bruta e aparelhados, portas vitorôs, lajotões, colonial, formicas, telhas brasilit, e francesa, tintas, cimentos, cal, pedras, areias, fechaduras, aglomerados, pregos, dobradiças, compensados, duratex, ferro, tacos, venezianas de madeiras e metalicas, 建築材料一切、製材物、ホルタ、窓枠、ヨロイテ及ヨロイ窓枠不製金屋製、床板タコ、フォルミカ、タイル、瓦、ブラシリッテ及フランセイリ、天月板、砂、砂利、石板、セメント、石灰チンタ、水道、下水管材、釘、鋸、鋸齒、その他建築材のすべて揃っています

建築資材専門商

## ツツパン市田 卷 商 会

ルア タパーショス 140 電話 2229番

# NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SIBABATA Rua Ademar de Barros 213 Fone 154

## オタル年末年始の贈物



入学祝・卒業祝、進学祝等 記念のブレイゼンテ用品は、

高級腕巻時計は一生の記念です。結婚のお祝には銀器か高級陶磁器とか、ファッシャーロ・シスナル製品年末NHK紅白歌合戦は、天然色のカラーテレビで見ましよう。超小型電気計算機、扇風機、ステレオ、グラバドル、愈々テレビはカラ時代となりました。一度カアと白黒と比較して見れば判ります。又ステレオ時代です。レコードも全部ステレオ用になりました。ルアアテマルデパロス街二二三番地レロイジョアリアタカミ

## 柴田時計店

電話一五四番